

令和7年2月11日

関 係 各 位

一般社団法人栃木県卓球連盟会長 相良 健治
(公印省略)

第75回全日本実業団卓球選手権大会栃木県予選会の開催について

このことにつきまして、下記要項により開催いたします。参加につきまして、よろしくお願いたします。

記

- 1 名 称 第75回全日本実業団卓球選手権大会 栃木県予選会
- 2 日 時 令和7年4月20日(日) 午前9時00分集合
- 3 会 場 小山市立体育館
小山市塚崎1408-1 TEL 0285-28-1250
(全日本クラブ選手権予選会と同会場)
- 4 主 催 一般社団法人栃木県卓球連盟
- 5 競技種目 ①男子団体(県代表3チーム) ②女子団体(県代表3チーム)
- 6 全国大会出場チームと試合方法
 - (1) チームは 監督1名、コーチ1名、選手4名～6名を登録し、4シングルス1ダブルスで編成し、3番目にダブルスをおき、3点先取法により行う。又、各選手は単複に重複して出場することができるが1・2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。
(3番のダブルスは3ゲームマッチとする。)
 - (2) 外国籍の選手は全種目とも、各試合で単・複いずれか1回のみ出場とする。
 - (3) 競技は、第1ステージはリーグ戦、第2ステージはトーナメントで行われる。
※ この栃木県予選会は、リーグ戦を原則として勝敗を決める。
- 7 参加資格 日本卓球協会登録者で、下記に該当するもの。
 - (1) チーム編成は、原則として同一都道府県内の同一官公庁・警察署・消防署・工場・会社・商店・学校(以下団体という)単位とし、令和7年4月30日以前から引続き、当該団体に正社員、正職員、契約社員(1年以上の契約)または嘱託(1年以上の契約)として勤務(所属)している加盟会員とする。(学校の場合、学生、生徒を除く)
 - (2) (1)の条件でチーム編成ができない場合は、同一都道府県内及び他都道府県にある同一名のつく支局・支店及び各工場等とチームを統合してもよい。(チーム名にA, B,などを冠したものは同一チームと見なす)。その場合、他都道府県登録選手2名までをチームに加えることを認める。ただし、その選手の本来所属している団体が大会出場(予選会を含む)している場合、関連他チームへ加わることはできない。また、予選会で敗れたチームからの補充はできない。

(3) (2)を適用する団体は、各都道府県の予選会及び全国大会への申込書にその旨を明記すること。なお、チーム編成に不正とみなされることがあった場合は失格とすることがある。

(4) 推薦出場チーム

男・女共、日本リーグ1部・2部の全チーム

第74回全日本実業団卓球選手権大会において男子ベスト32、女子ベスト16以上のチーム

8 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。

②使用球はJTTA公認プラスチック球40mmホワイト

9 申込み方法及び締切

令和7年4月9日（水）必着（電話・口頭不可）

〒320-0806 宇都宮市中央2-1-2 イシザキスポーツ内栃卓連事務局宛

表に『全日本実業団予選申込書』と朱書し申し込む。

栃卓連 ホームページ <https://tochigi.ltta.jp/>より ダウンロードした申込書を使用し、**原本を郵送**すること。

郵送とは別に和久井幸夫まで pa52738@pg8.so-net.ne.jp データを送る。

10 組合せ 4月13日（日）小山市立体育館会議室にて午後2時より県卓連役員が行う。
全日本クラブ選手権予選の組合せも一緒に行う。

11 参加料 1チーム1種目 4,000円 当日、朝会場で

12 その他

(1) この予選会に出場しないチームは、全国大会出場への推薦はしない。

(2) 予選会の結果、県代表になったチームは、全国大会参加料 50,000円を当日納入されたい。

(3) 代表選手は、有段者であること。

(4) 会場内でのマスク着用は各自の判断とします。

<第75回全日本実業団卓球選手権大会 概要>

期日・会場 令和7年6月26日(木)～6月29日(日)

島津アリーナ京都

京都府京都市北区大將軍西鷹司町 電話 075-462-9191

全国大会推薦チーム 榊栃木銀行

※ 問合せ先

理事長 久保井圭子 (090-4969-6682)